

三智創造

湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活（れいわしょうかつ）』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和2年10月1日

【フレッシュな選手たち・駅伝部の活躍に期待】

9月の19日からの連休中には陸上の県新人戦や卓球の学年別大会が行われました。また、昨日は新人大会の激励会が行われ、フレッシュな選手たちを激励しました。緊張のためにチームでまとまった返事のタイミングが合わなかったり、お礼の言葉につまってしまったりと初々しい場面がたくさんありました。夏の3年生最後の中部地区総体の激励会がとてもすばらしく、選手たちのキビキビとした態度や話しを聞く姿勢のよさが、きちんと後輩たちへ引き継がれていくことと、今大会に参加する選手たちの大活躍を期待しています。

そして、今週末の10月2日・3日（4日）にはいよいよ中部新人大会が開催されます。大会種目や内容が例年と異なっている競技もありますが、県総体予選と同じように新型コロナウイルスへの対応のために『無観客』での開催となっています。これにつきましては、大変残念なことで申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、10月13日には、中部地区駅伝競走大会が倉吉市営陸上競技場で開催されます。近年、中部地区ではお台場公園周辺コースで行われてきましたが、今年は、この度の感染症対策での配慮となりました。例年に比べて、今年からほぼ一ヶ月遅い開催ということで、他県にならって熱中症対策も考慮しての取り組みとなっています。こうした中でも、本校の生徒たちは自主的に練習に取り組み、夏の暑さが厳しい中でも頑張っていて活動してきており、本番に向けての準備も着々と進めてきました。暑さや苦しさ負けそうな時も何度かあったでしょうが、ここまで本当によく頑張ってきました。「最後までやり遂げた者だけが味わえる喜びと感動」がすぐそこに待っています。一番大切なのは「自分との戦い」。自己ベストの更新をめざし、周りの雰囲気流されることなく自分の力を出し切ってきてください。



【第2回学校運営協議会開催】



9月23日、第2回の学校運営協議会が行われました。委員の方々には5限の授業を参観していただいた後に、最近の学校の様子をお伝えしました。そして、その後に職員の自己評価（中間評価）や生徒と保護者・運動会のアンケート、一学期の取り組み等を中心にご意見・ご助言をいただきました。

すでにホームページをご覧いただいていた委員さんも多かったようですが、一学期の職員の取り組みや課題・今後の取り組みに対する自己評価のとおり、少しずつでも成果が現れていることもあれば、なかなか厳しい状況の内容もあって、今後の取り組むべき内容を明確にしているところです。

（1）湯梨浜中学校の現状と課題について

①自己評価・中間評価について

「（1）主体的に学習にとり組む生徒の育成」、「（2）温かな人間関係づくり、生徒自らの魅力的な学校づくり」、「（3）専門機関とのつながりを深め、長期欠席が生まれないように努める」までは、昨年以上の評価となっている。「（4）保護者・地域との信頼関係の強化」については、新型コロナウイルスへの対応のために参観日等の影響が大きく昨年よりやや下降気味ではあるが、昨年以上にホームページの更新、学校だよりや学年通信等の充実、地域の方々との触れ合いを増やすこと等々をさらに努力していく。それ

それ「肯定的な意見」「課題」があるが、『具体的な取組』を進めていく。

○長期欠席の防止について、定期的に対策委員会を開催して原因に対する分析を詳細に行ったり、担当を増やすなどして家庭訪問やカウンセリング、個人指導等を丁寧に行うことで、昨年まで登校できなかった生徒たちの中にも少しずつ登校できるようになってきている生徒たちもあり、その取り組みの成果が着実に出てきている。

②学力について《NRT（標準学力検査）の分析から》

全国学調が中止になったが、NRT では教科の総合が2、3年が0、2ポイントずつ上昇、1年生は昨年は小学校であったので比較できないが、各教科で分析したことを今後に活かしていく。

③生徒・保護者アンケートの結果について

ほとんどの項目で昨年以上の数値、生徒の「部活動」については昨年より少し下がり気味だが、新人戦やその後は全体的に積極的に取り組んでいる。保護者の⑫の「生徒が学校生活に満足している」の9割というのはなかなか得られない好評価で、この新型コロナウイルスへの対応で平常の活動ができない中でも、生徒たちが伸び伸びと落ち着いて生活できていることに感謝している。

④運動会アンケートについて

午前中だけの開催であり、せわしなく制約を伴った演技内容であったが、工夫して取り組んだことに、思わぬほど肯定的なアンケートがたくさんいただけて大変感謝している。今年も駐車場対策等に苦慮したが、他の多くの改善点や注意点に対する貴重なご意見をいただき、これらを今後に活かしたい。

（２）協議及び助言

①協議・助言

- ・コロナ禍の中で生徒は努力している。来年度に向けて修学旅行も含めて検討してほしい。※運動会や修学旅行の時期を臨機応変に考える。コロナ対策に対して町から予算化していただき大変感謝している。
- ・授業参観で生徒は元気だった。3年4組の道徳でコロナにおける人権問題を教材化していて安心した。
- ・「挨拶・姿勢」を掲げていたが、まだ机に伏せている生徒がおり、先生の声かけがほしかった。生活リズムの確立を願う。1年生は楽しそう。2、3年生は学習に熱心だ。
- ・1年よりも2、3年になるにつれて集中していた。背面黒板に学級の工夫が見られた。
- ・コロナ禍の中でアンケートの％が概ね上昇。協同学習定着や温かな人間関係の上昇はとてすばらしいことだ。生徒アンケート「学校が楽しい」も向上。落ち着いた学校になりつつある。保護者からの肯定的評価が教員の意欲を促すはずだ。※コロナ禍の中で努力した結果であり、ピンチをチャンスに変えた成果ではないだろうか。

②部活動について・今後の部活動の指導者や活動の在り方等について意見交換を行った。

【こいやすごい！ ・ いいことあいそう】



①11月の7（土）・8日（日）に第18回鳥取県総合芸術文化祭『とりアート2020中部』が開催されます。「つながろう！つなげよう！アートの力」を合い言葉に、倉吉未来中心で開催されますが、なんと、何とこの左側のポスターが本校の美術部員の作品です。数ある作品の中で、見事入選して採用されたようです。

②今月末あたりから思わぬゲストがお出でになり、事務室あたりで話題となっていました。職員玄関の電話機の周辺、校舎の窓に写真のように緑のカエルと仲良く2匹でジッとしていました。

白いカエルは幸運を呼ぶとのこと。

特に「恋愛運がよくなるのか？」、これからの新人戦や文化祭等々も含めて、何かいいことの前触れに間違えない！！と確信しています。

